

福島第一原子力発電所

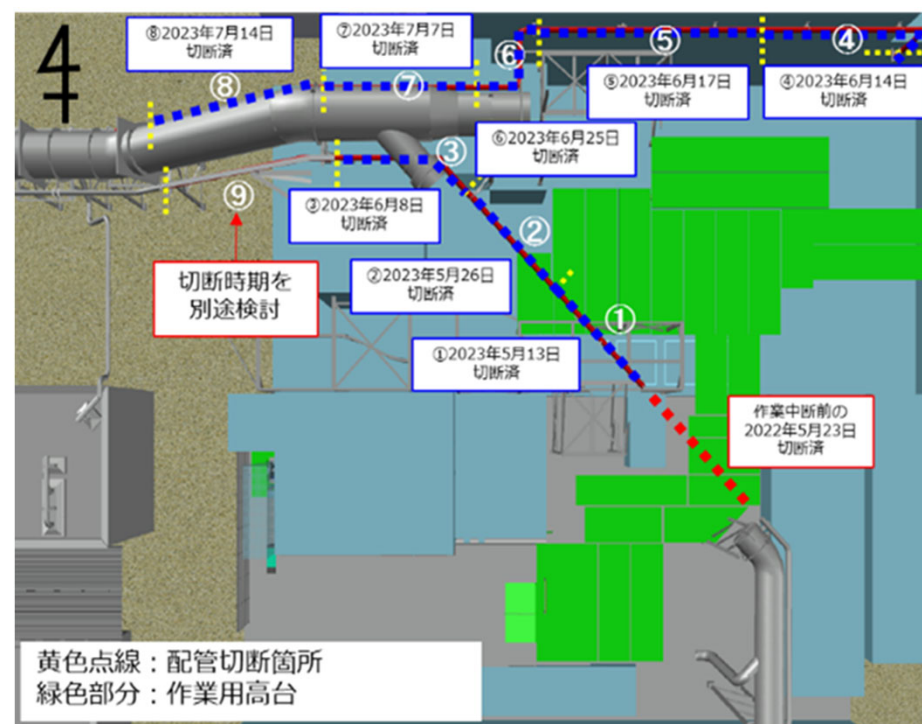
1/2号機SGTS配管撤去（その1）における配管線量測定について

< 参考資料 >
2023年10月19日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 1/2号機非常用ガス処理系（以下、SGTS）配管については、本年7月14日までに1号機燃料取り出し用大型カバー設置工事に干渉する8本の撤去が完了しており、撤去が完了したSGTS配管は1号機タービン建屋屋上および1号機コントロール建屋屋上に仮置きしています。
- 今後、当社が実施する事故調査や仮置きしているSGTS配管運搬等に向けた作業計画検討のため、本日から、撤去が完了している8本のSGTS配管の線量測定を実施します。
- 1号機タービン建屋屋上に仮置きしている配管は同建屋北側へ、1号機コントロール建屋屋上に仮置きしている配管は1号機タービン建屋北側地上部へ移動したうえで、作業員の被ばく線量低減を考慮するため、遠隔ロボット（Spot：次頁参照）により線量測定を実施します。
- 引き続き、周辺環境および作業員へ影響を与えぬよう、安全最優先に作業を進めてまいります。

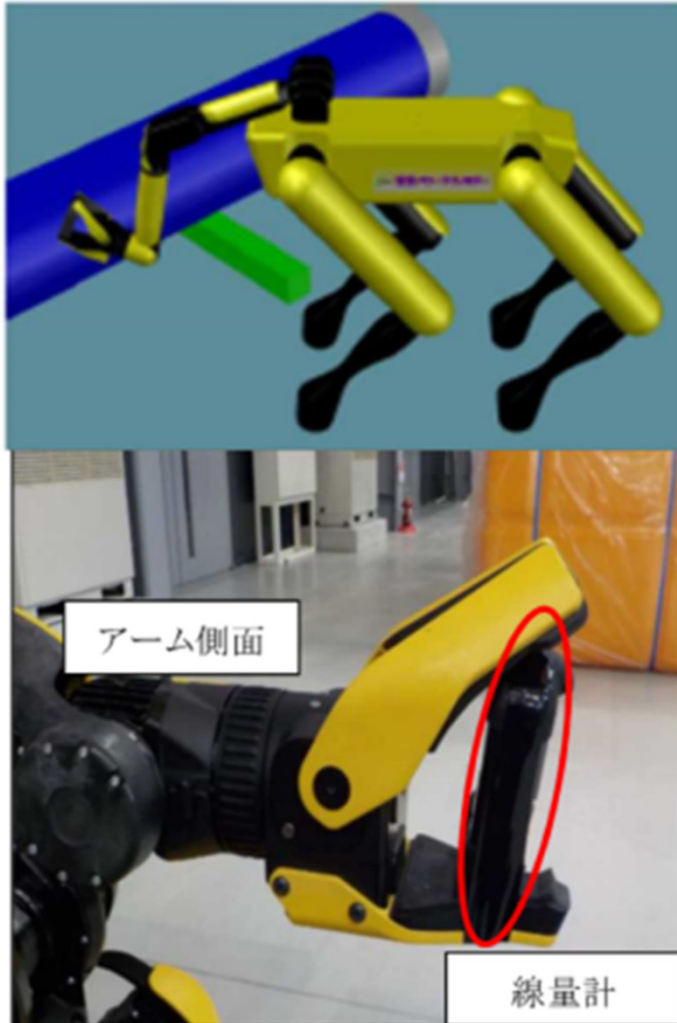


SGTS配管の仮置き状況および線量測定エリア



SGTS配管撤去（その1）の作業実績

参考：遠隔ロボット (Spot) の線量測定イメージ

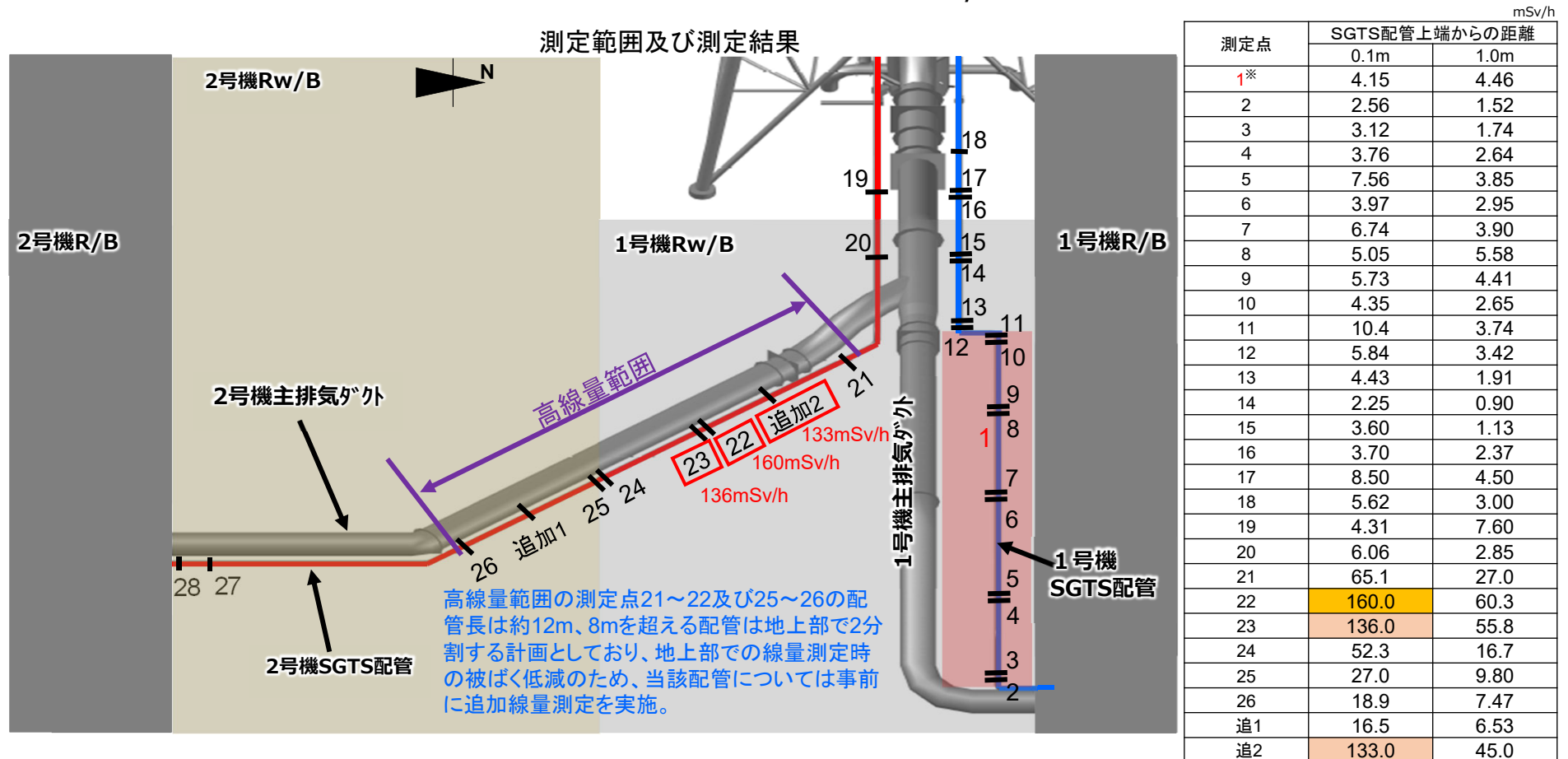


Spotの主な仕様	
寸法	長さ1110mm、幅500mm、高さ610mm (歩行時)
重量	32.7kg
稼働時間	90分 (積載物なしの状態)
最大積載量	14kg

【参考】放射線量率測定（測定結果）

(1) SGTS配管線量測定結果

- ・ 下記に示す通り、配管線量率は2号機側が高く1号機側低い結果となった。（昨年と同傾向）
- ・ これらは、ベント流速が速かった1号機配管より2号機は原子炉建屋内のSGTS系機器（フィルタ、ラプチャーディスク等）が抵抗となり流速が抑えられ滞留したものと推測している。
- ・ なお、2号機配管で高線量が確認された範囲（測定点21～26）の配管位置関係は、屋外配管のハイポイント（測定点20）より約1.2m低く、2号機R/Bからは水平位置となっている。



※左記赤枠内上部3.0mにおいて最も高線量箇所を測定